

# 約 20 年のステロイド使用後の全身症状を経て眼瞼周囲のみとなった成人アトピーの経過 (29 歳 男性)

症例 ID：001-20-OY2 | 記録日：2015 年 11 月 15 日

## 1. 診断・治療前経過

小学校低学年頃から約 20 年間アトピーがあり、ステロイド外用薬を全身に使用していました。症状のない部位にも塗り、常に携帯する生活が続きました。

2013 年 3 月頃に自己判断でステロイドを中止し、全身の炎症、関節部の腫れと痛み、顔・首の落屑、両手の広範な亀裂がある状態で、同年 5 月頃に治療を開始しました。

## 2. ステロイド使用歴

| 項目    | 内容                           |
|-------|------------------------------|
| 使用内容  | ステロイド外用薬を全身に使用しました。          |
| 製品名   | 紫色または青色のキャップの外用薬。製品名は不明です。   |
| 強度    | 不明です。                        |
| 使用期間  | 小学校低学年頃から約 20 年間です。          |
| 中止時期  | 2013 年 3 月頃です。               |
| 来院前／後 | 来院前に長期使用歴があります。来院後は使用していません。 |

## 3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

| 時期                     | 治療開始から  | 経過                                 |
|------------------------|---------|------------------------------------|
| 2013 年 3 月頃            | 中止      | 自己判断でステロイドを中止し、全身症状が強くなりました。       |
| 2013 年 5 月頃            | 治療開始    | すでに全身の炎症、落屑、亀裂、浸出液がある状態で治療を開始しました。 |
| 2013 年 7 月～2014 年 1 月  | 症状の強い時期 | 全身の痛み、浸出液、強いかゆみ、不眠が続きました。          |
| 2014 年 1～5 月           | 広範囲の軽減  | 下腿、腹部、足底、膝裏、臀部、腕、背部などの順に症状が減りました。  |
| 2014 年 5～11 月          | 経過中     | 見た目は大きく整い、主に肘内側と顔にかゆみが残りました。       |
| 2014 年 11 月～2015 年 7 月 | 経過後     | 炎症は眼瞼周囲を中心に残る程度となりました。             |

## 4. ピーク時期

ピークは、2013 年 7 月から 2014 年 1 月頃に、全身の強い痛み、浸出液、落屑、関節部の腫れ、ほとんど眠れないほどのかゆみが続いた時期です。

## 5. 困りごと

- 全身の浸出液と落屑への処置を続けながら就労しました。
- 睡眠は短時間に限られ、入浴中に休息を取る時期がありました。
- 家族による掃除、煎じ薬、入浴準備などの支援が必要でした。

## 6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。

| 時期              | 総 IgE | TARC |
|-----------------|-------|------|
| 2013 年 5 月 18 日 | 801   | —    |

| 時期              | 総 IgE | TARC |
|-----------------|-------|------|
| 2013 年 7 月 13 日 | 1204  | —    |
| 2014 年 1 月 5 日  | 748   | —    |
| 2014 年 5 月 25 日 | 283   | —    |
| 2014 年 11 月 9 日 | 195   | 806  |
| 2015 年 7 月 25 日 | 104   | 750  |

## 7. 経過のまとめ

全身各部の症状は段階的に軽減し、記録時点では炎症が眼瞼周囲に残る程度となりました。

総 IgE は 801 から 104 へ低下し、大きな支障なく日常生活を送れるようになりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。  
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。